

ありがとう～一球同志～

津和野高校野球部通信

第32号

【10／11月の活動予定】

⑨

10月23日（土）	練習試合	萩商工（津高G）
10月24日（日）	練習試合	島根中央（津高G）
10月30日（土）	練習試合	矢上（津高G）
10月31日（日）	練習試合	智翠館（智翠館G）
11月 3日（水）	鍛錬行事	
11月 6日（土）	練習試合	飯南 米子工（頓原球場）

秋季大会

～力を出し切れず、初戦敗退～

〔1回戦・出雲商業〕

津和野	0	1	0	0	0	0	2	0	2	5
出雲商業	3	0	0	0	0	3	0	1	×	7
投手リレー 岡（日原）・中野（兵庫・山田）一中島（三木東）										
二塁打 西村有（岡山・哲多）増本2（吉賀） 中村（兵庫・大池）										



—試合総括—

夏の大会を1・2年生で戦って勝利し、試合経験が豊富なメンバーを擁したこの秋の新チーム。練習試合でもますますの戦いを見せており、期待をされて秋季大会に臨みました。

先発は2年生の岡（日原中）。初回、相手1番打者に初球を痛打され、チームは動搖してしまいました。エラーや不運なヒットも重なりこの回3失点をし、結果的に初回の守りがこの試合に重くのしかかりました。

2回には、すかさず4番の西村がフェンス直撃の2塁打を放ち、1点を返します。攻撃では、再三のチャンスを迎えますが、なかなか追加点が奪えず焦りが出て来るなか、6回には3点を追加されてしまいます。5点差をつけられた7回、辻（兵庫・本山）のタイムリーヒットで2点を返します。そして向かえた最終回、地力を発揮して連打を放ち、点差を詰めます。そして、ランナーを置いたチャンスで1番三家本（津和野）がセンター後方を襲う大飛球を放つも、スーパーキャッチされ、万事休す。夏に続く勝利はありませんでした。

バッテリーを中心に守備から試合をつくるのが、このチームの強みでしたが、まだまだ実力不足を感じました。また、攻撃力・得点力の強化が大きな課題として浮き彫りになりましたので、これから時間で克服していきたいと思います。選手達は、試合後すぐにミーティングを行い、今回の敗戦を受け止め、次につなげるよう決意を新たにしていました。

1年生大会

～智翠館相手に、終盤まで粘るも力尽く～

〔1回戦・石見智翠館高校〕

智翠館B	0	1	0	2	0	2	1	11		17
津和野	0	1	0	5	0	0	0	0		6
投手リレー 中村（兵庫・大池）三浦（柿木）一中島（兵庫・三木東）										
三塁打 西村裂（岡山・哲多） 二塁打 太田（大阪・新豊崎）										



—試合総括—

11名の1年生だけでチームを結成し、石見地区1年生大会に出場してきました。初めて試合に出場する選手も多く、どんな試合になるのか予想もつきませんでした。

初回、智翠館高校は、ランナー2塁から内野ゴロの間に一気にホームへ突入するも、ファースト浴町（田万川中）が、落ち着いてバックホームし、タッチアウトを奪いました。その裏、津和野は2塁から中村（兵庫・大池）がセンター前ヒット、智翠館センターがバックホームし、これまたタッチアウト。白熱した1回の攻防で試合が始まりました。1点を先制された2回裏、2塁打で出塁した太田（大阪・新豊崎）が、バッテリーエラーの間に好走塁で生還し、同点としました。4回には、満塁のチャンスで9番三浦（柿木）が、しぶとくライト前タイムリーヒット、続く1番西村裂（岡山・哲多）が走者一掃の3塁打、2番深川（吉賀）がレフト前ヒットとたたみかけ、5得点を挙げて逆転に成功しました。

先発したのは、本来は内野手の中村、粘り強く投げて試合をつくりました。しかし、体力的に限界を迎えた8回につかり、続く公式戦初登板となる三浦も失点を重ねて試合は決しました。

まだまだ実力不足、体力不足ながらも気持ちを前面に出して相手に向かって行く姿勢は、2年生を含むチーム全体に良い刺激を与えてくれました。



〔決勝戦・益田翔陽〕

津和野	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2
益田翔陽	0	0	0	0	0	0	0	1	×	1

投手リレー 中野（兵庫・山田）・岡（日原）—中島（三木東）

三塁打 中野

雨天のため、延期になっていた益田選手権の決勝が行われました。相手は、秋の大会でも2勝を挙げた益田翔陽高校さんです。2回に1点を先取し、1-0のロースコアで試合は進みました。先発は2年生の中野（兵庫・山田）、粘り強い投球を続け、5回途中まで得点を与えず試合をつくり、2年生左腕の岡に継投します。8回にはランナー3塁のチャンスに深川がライト前にタイムリーヒットを放って待望の追加点。反撃を1点に抑えて2-1で勝利し、益田選手権大会の優勝となりました。調べてみると、平成11年に優勝して以来、22年ぶりの優勝のようです。

これからも津和野高校野球部の応援よろしくお願ひします。



～野球部通信担当が変わりました。

よろしくお願ひします～



今回より津和野高校野球部通信 ありがとうございます～一球同志への編集を担当することになりました、1年女子マネージャーの海津萌伽（山口・田万川中出身）です。野球部の様子をお伝えし、皆様に元気を与えられるよう頑張っていきますのでよろしくお願ひいたします。